

ラディッシュ通信

12年冬号



お知らせ

年末年始の透析は通常通りとなります。お間違えのないようお願いいたします。
また、ご利用になっている薬局の休業日を確認しておくことをお勧めいたします。

院長より



今年もインフルエンザの感染に
注意が必要な時季となりました

12/5の時点では神奈川県にはインフルエンザ流行注意報(国立感染研究所感染症情報センター)は出ていませんが、以下のような症状があればスタッフに声をかけて下さい。

#急激な発熱

鼻水や咳・くしゃみなどが続くことなく、急に高熱がでる(38℃以上の発熱/悪寒)。

#付随する症状として

関節痛・筋肉痛・倦怠感・頭痛などがあります



いわゆる風邪様の症状(咳/鼻汁/くしゃみなど)は遅れてでてきます。また、38℃未満の熱でも、地域内でのインフルエンザの流行や、家族や仕事場で発熱した人がいるときには注意が必要です。

2012年10月で、現在の場所に移転

して10年になります。クリニックのビルも雨漏りやひび割れなど、メンテナンスでご迷惑をおかけしております。



ベット数も40床となり、新しく機械を導入しオンラインHDFを再開しました。機械も毎年、十分な定期メンテナンスをして対応しております。又、透析液は、現在もクリーンに保っておりますのでご安心下さい。



12月に入り寒さが厳しくなってきました。

皆さんはご自宅でこたつ、湯たんぽ、ホッカイロなどを使っていることと思います。湯たんぽ、ホッカイロなどは「低温やけど」

をおこす危険性があります。直接使用したりせずタオルなどにくるんで使うようにしてください。

電気毛布や電気あんかは寝る前に暖めておいて、寝る時は電源を切るようにしてください。



足を洗う時は指の間もしっかり洗い、毎日足の観察をして「おかしいな？」と思ったらスタッフに声をかけてください。爪が厚くなって切れない方もお声かけください。

今年もあと数日となりました。1年あっという間ですね。ラディッシュ通信も今年は初春号と今回の冬号2回だけの発行になってしまいました…。来年はもっと大根クリニックや透析治療に関する情報をみなさんにお伝えしていきたいと思います。

来年もよろしくお願いいたします。



栄養士より



リンについて

日本透析医学会
東海大学腎代謝内科 角田隆俊先生講演より

①食事に含まれるリンは、形態によって腸管に吸収される割合が異なる

添加物由来 90%

動物性食品 40~60%

植物性食品 生体での利用率が低い

②リンの食事から摂取と透析での除去

透析食1日分800mgのうち65%吸収=520mg

1週間で3640mgの摂取

透析1回で約800~1000mg除去

週3回で約2400~3000mg除去

差より腸管からのリン吸着量1240~640mg/週

1日およそ177~91mg

③リン吸着剤

ホスレノール 250mg

炭酸カルシウム 500mg

レナジェル 1000mg

約29mgの
リンを吸着

加工食品、嗜好飲料などには添加物としてのリンが多く含まれます。摂りすぎないようにしましょう。また、食事でのリン摂取量を調整し、リン吸着剤を正しく服用することがリンをコントロールしていくうえで大切です。

検査日程

< 胸部レントゲン >



1月 7・8日(午後の方) 11・12日(午前の方)

2月 4・5日(午後の方) 8・ 9日(午前の方)

3月 4・5日(午後の方) 8・ 9日(午前の方)

4月 1・2日(午後の方) 5・ 6日(午前の方)

< 心電図 >

1月 14・15日 3月 11・12日

2月 11・12日 4月 8・ 9日

